

くっつきたいわ



大居新院長と秦前院長(名誉院長)が握手でパトタッチ

院長就任のごあいさつ

対話を通じて良質な医療を提供します

松江赤十字病院 院長 大居 慎治



平成30年4月から松江赤十字病院の院長を拝命いたしました大居でございます。就任にあたりごあいさつ申し上げます。

私は長年当院において血液内科、総合診療科の医師として働いてまいりました言わば「たたきあげ」です。まず私自身がモットーにしたいのは「対話」、他人の考えをよく聞くことです。一方的にならず双方向で、感情的にならず冷静に、相手が何を考えているかを聞くことをお約束したいと思います。

松江赤十字病院は創立83年目となり、住民の方々からは「日赤病院」として親しまれております。地域の「最後の砦」としての基幹病院であることが期待されています。2025年を見据えた地域医療構想のなかでも高度急性期病院であり続けることが望まれます。その際に重要なことは「救急医療」と「災害拠点病院」です。救急医療については救急医の退職により縮小せざるを得ないなかで、住民の健康を守るため病院をあげて切れ目のない医療を提供し続けてきました。特に医師には過大な負担をかけておりましたが、医師確保に明るい兆しが見られており、救急体制の充実に向けて引き続き優先課題として取り組んでまいります。災害拠点病院としては事業継続計画(BCP)を今年度中に策定し、その実効性を検証するため訓練を行いましたと思っております。

さて、病院の使命とは何でしょうか。「良質の医療を提供すること」に尽きると思います。質の高い医療という意味も、ここ10年くらいの間、単に難しい病気を治すことだけでなく、個々の患者さんにあった標準治療を安全・安心に行うことに大きく変わっております。医療安全、感染管理は重点項目として引き続き行っていくますが、臨床指標(QO)による質の評価も取り入れます。しかし何より患者さん一人一人を大切にすること(赤十字の理念である人道、すなわちいのちと尊厳の重視)が最も重要なことは明らかです。

最後にもう一度、対話を通じて良質な医療を提供することを目標に掲げ職務に励みたいと思っております。ご指導、ご鞭撻をどうかよろしくお願いいたします。

患者満足度アンケート結果報告

調査期間 平成30年2月5日～9日
調査対象 外来患者(402名)・入院患者(159名)

平成30年2月に行った患者満足度アンケートの結果を抜粋してご報告します。

入院・外来ともに「患者さんの話を聞いている」ことについて評価をいただいた一方、外来での評価は「待合室の環境」について椅子が足りない、狭いという意見をいただいております。また、入院につきましては、「食事の献立」について満足ではないとの声をいただきました。

ご指摘いただいた内容につきましては、みなさんからのご期待に沿えるよう、より良い医療サービスの向上に繋げてまいります。



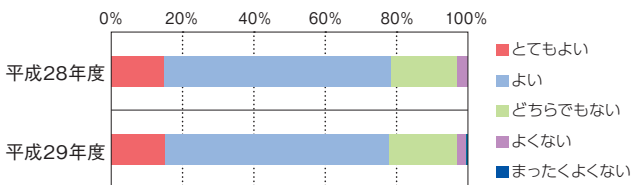
当院への満足度を5点満点で評価していただいた結果…



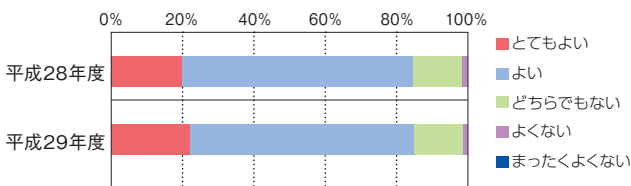
	評価が高かった項目	評価が低かった項目
外来	医師はあなたの話を聞いてくれましたか 4.5点	待合室の環境はいかがでしたか 3.9点
入院	医師はあなたの話を聞いてくれましたか 4.6点	食事の献立はいかがですか 3.6点

外来について

待合室の環境はいかがでしたか

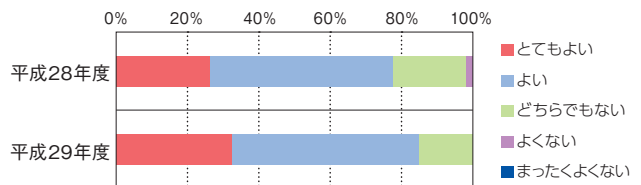


診察室の環境はいかがでしたか

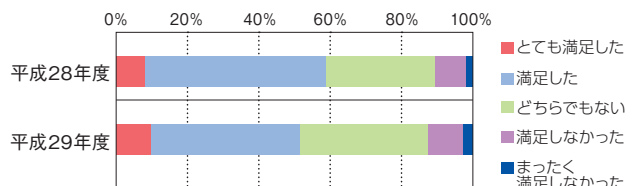


入院について

病室の居心地はいかがですか



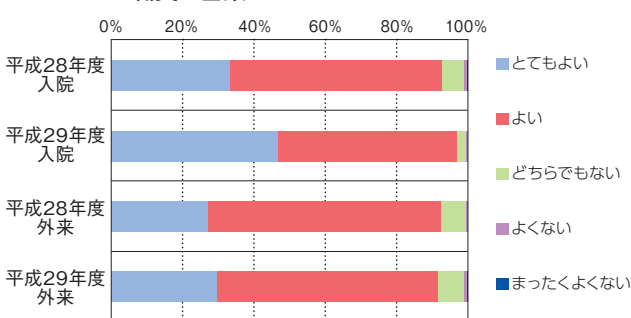
食事の献立はいかがですか



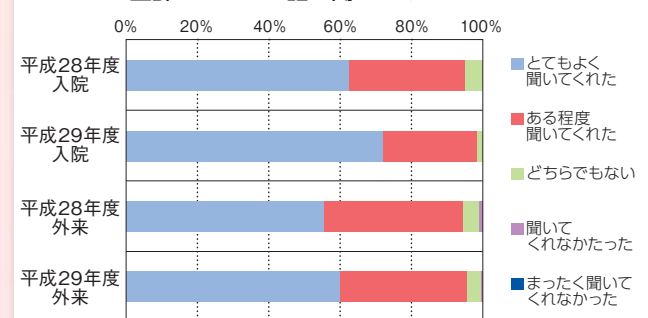
外来・入院共通



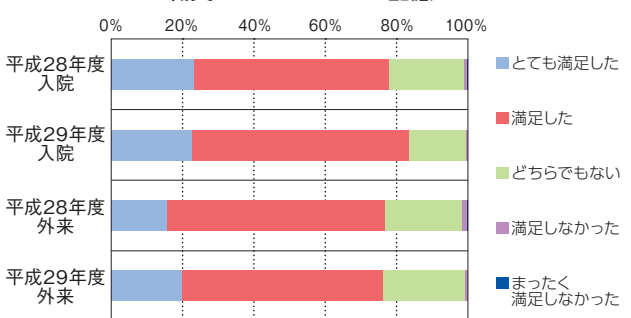
職員の言葉づかいはいかがでしたか



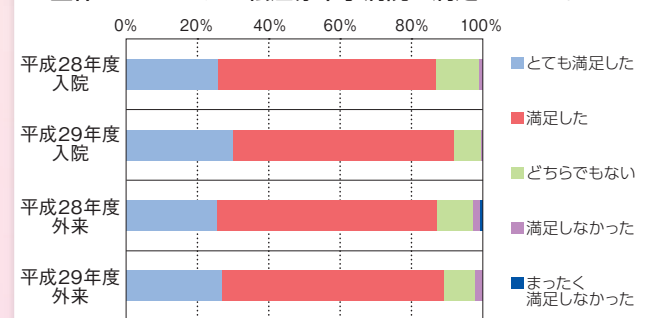
医師はあなたの話を聞いてくれましたか



あなたにとって職員のプライバシーの配慮はいかがでしたか



全体としてあなたは松江赤十字病院に満足していますか

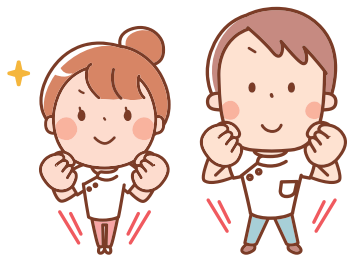


ハイブリッド手術室のご紹介

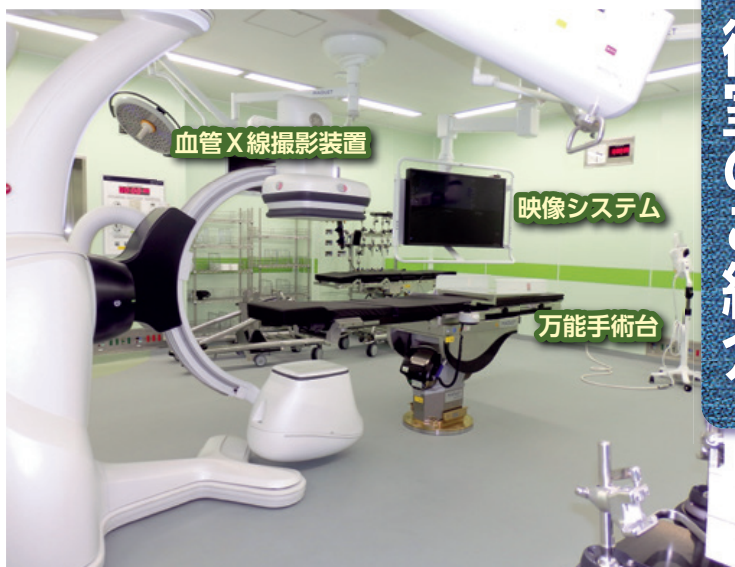
このたび当院では、一般財団法人マルチ報恩会様からの寄付金をもとに「ハイブリッド手術室」を整備いたしました。

ハイブリッド手術室とは、手術台と心・脳血管X線撮影装置を組み合わせた手術室のこと。手術室機能に最先端のカテーテル治療室の機能が加わったものと言え、より低侵襲な手術が実施できるため、心・脳血管疾患の治療向上と適応拡大が期待できます。

当院のハイブリッド手術室は、「床自走式の血管X線撮影装置」と「万能手術台」を組み合わせた最新のシステムで、この組み合わせのシステムは国内で2施設目の導入となります。



ハイブリッド手術室
初稼働の様子



2月～4月 採用医師紹介

introduce

Hello Doctors



膠原病・腎臓内科 藤井 俊吾

はじめまして。このたび島根大学医学部附属病院より異動して参りました。松江市に住むのは初めてですが、早く地域に馴染み、皆さんのお役に立てるよう頑張ります。



外科 岸 隆

今年より外科に入職します岸と言います。生まれも育ちも松江ですので、地元の医療に貢献できるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。



耳鼻咽喉・頭頸部外科

中島 賢一朗

不安なことや気になることなどありましたら何でもお尋ねください。誠心誠意お答えさせていただきます。



脳神経内科 種田 建太

4月より赴任いたしました脳神経内科の種田と申します。米子より参りました。松江の地域医療に貢献したいと思っております。よろしくお願いいたします。



整形外科 片山 幹

整形外科の片山と申します。前任地では脊椎外科を主な専門分野として診療を行っておりました。腰痛、下肢痛でお困りの方、ぜひ受診をご検討ください。



麻酔科 岸本 朋宗

「かるやかに しなやかに いい街 いい人 いい医療」をモットーとして頑張ります。



呼吸器内科 酒井 浩光

安来市出身です。皆様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。



心臓血管外科 角 尚紀

4月から心臓血管外科医として赴任して参りました。皆様のお役に立てますよう、誠意を持って診療して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



麻酔科 郡司 晃太郎

初めまして。4月より島根県出雲市から赴任して参りました郡司晃太郎と申します。日々精進していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



循環器内科 清水 孝史

清水孝史と申します。松江市の出身で、このたび東京の病院より戻って参りました。地域医療に貢献できるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。



泌尿器科 清水 龍太郎

初めまして、泌尿器科3年目の清水です。まだまだ若手ですが、誠心誠意、頑張らせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



歯科口腔外科 吉田 優

皆さんは自分の口の中に歯が何本残っているか知っていますか？楽しく食事ができるようにお手伝いをさせていただきますのでよろしくお願いいたします。



小児科 藤脇 建久

十数年ぶりに松江赤十字病院に戻ってきました。故郷である松江の地域医療に貢献できるよう全力を尽くします。よろしくお願いいたします。



産婦人科 笹森 博貴

一生懸命に頑張りますので、よろしくお願いいたします。



ブロッコリーとウィンナーのピザ

栄養課 調理師 竹内 佐智子

今回は「ブロッコリーとウィンナーの手作りピザ」を紹介いたします。ピザは生地作りにも多少時間がかかりますが、この春新生活が始まった方など気分転換にいかがでしょうか。お好みのものを加えたりして、楽しいのでぜひ作ってみてください。手作りでは焼き立ての味は別格です。



材料 (4枚分)

〈生地〉

- 薄力粉……………200g
- ドライイースト……………6g
- 砂糖……………小さじ1
- 牛乳……………140g
- オリーブ油…小さじ1 (サラダ油でも可)

〈トッピング〉

- ウィンナー……………8本
- 赤パプリカ……………1/2個
- ピザソース…大さじ4(☆)
- 粒入りマスタード…小さじ2(☆)
- ピザ用チーズ…200g
- ツナ缶……………1缶
- ブロッコリー……………1株
- マヨネーズ 大さじ4(☆)
- 粉チーズ……………少々

作り方 〈ピザ生地〉

- ボウルに薄力粉を入れて真ん中にくぼみを作り、ドライイーストと砂糖と人肌温めた牛乳2/3量を入れ、1分程置いてから指先で混ぜて更に1分程置く。
- 生地がまとまってボウルから離れるようになるまで混ぜる。硬さは、残りの牛乳で調節する。
- まとったらオリーブ油を加えて、全体に油がなじんだら力を入れ10回程度こねる。
- 丸くまとめ、表面にオリーブ油を塗ってラップを被せ夏場は室温、冬場は暖かい所に1時間程度置くとかなり膨らむ。一次発酵は27℃くらいが適温。冬場は暖房器具などの近くに置いて適温を確保するとよい。
- 一次発酵の済んだ生地を4〜5回押さえガスを抜く。
- 4等分してそれぞれ丸くまとめラップを敷いたバットに並べ、ラップをかけ室温に30分程置いて二次発酵させる。
- 二次発酵の済んだ生地を手のひらで押しつぶすようにして平らに伸ばし更にめん棒で軽く伸ばす。厚みが1〜2mmになるように均一に伸ばせば、ピザ台の出来上がり。



〈トッピング〉

- 赤パプリカ1/2は薄切りに、ウィンナーは斜め薄切りにする。
- ブロッコリーは小房に分け、塩を少々入れてさっと茹でる。
- ツナは缶汁を切り、ほぐす。
- 天板にクッキングシートを敷きピザ台を乗せ、(☆)をそれぞれ塗る。
- ①〜④までの用意した具材を④にトッピングし、ピザ用チーズを乗せ、更に粉チーズをかけてコクを出します。
- 250度のオーブンで7分程焼いたら完成です！

平成30年度 前期 外来糖尿病教室 ※毎回予約制

※糖尿病手帳をお持ちの方はご持参下さい。 申込・問い合わせ先…担当保健師 吉岡 TEL(0852)24-2111(代)

5月16日(水)
10:00~13:30
・場所・
本館6階 講堂

糖尿病と血糖値をめぐる話題

- 食後の高血糖が与える影響は？
……………糖尿病・内分泌内科 山本 公美
- 食物繊維をとりましょう
……………管理栄養士 今岡麻奈美
- 糖尿病療養指導士からのアドバイス
……………臨床検査技師

★
体験談
すこやか会
会員
「食事会」
からだに優しい
おすすめ
メニュー

7月11日(水)
10:00~13:30
・場所・
本館6階 講堂

糖尿病から腎臓を守るためにできること

- 糖尿病腎症のサインは？
……………糖尿病・内分泌内科 垣羽 寿昭
- 今日からできる減塩のコツ
……………管理栄養士 安原みずほ
- 糖尿病療養指導士からのアドバイス
……………病棟看護師

★
体験談
すこやか会
会員
「食事会」
夏にうれしい
減塩メニュー

9月19日(水)
10:00~13:30
・場所・
本館6階 講堂

肥満と糖尿病

- 少しでも痩せたいあなたに！
……………糖尿病・内分泌内科 佐藤 利昭
- しっかり食べて痩せましょう！
……………管理栄養士 藤原 彩菜
- 糖尿病療養指導士からのアドバイス
……………理学療法士

★
体験談
すこやか会
会員
「食事会」
野菜たっぷり
ヘルシー
メニュー

健康医学講座

受付開始時間/13:30~
講演時間/14:00~15:30
場 所/本館6階 講堂
(受講は事前にお申込みください)

受講料
無料

申込・問い合わせ先…
医療社会事業課 TEL(0852)24-2111(代)

6月18日(月) 松江赤十字病院の役割
……………院長 大居 慎治

7月18日(水) 慢性腎臓病(CKD)と
言われたら…
……………副院長(膠原病・腎臓内科部長) 漆谷 義徳
慢性腎臓病の食事について
……………栄養課長補佐 安原みずほ

8月20日(月) 肺がんについて
……………呼吸器内科 石川総一郎

9月20日(水) 救急外来を
受診するのはこんな時！
～いざという時のために～
……………救急看護認定看護師 中筋 真紀

10月29日(月) 脳血管障害の治療
……………脳神経外科部長 大林 直彦

■ 病院理念…… わたしたちは、「人道・博愛」の赤十字精神に基づき地域の医療に貢献します。

■ 基本方針……

- ① 地域の基幹病院として、説明と同意に基づく「高度」「良質」な医療を提供します。
- ② 急性期病院として保健・医療・福祉・介護機関との連携を進め、一貫した医療を行います。
- ③ 救急病院として24時間地域の健康を守ります。
- ④ 赤十字病院として災害救護に貢献します。
- ⑤ 教育病院として次世代の医療人を育てます。

松江赤十字病院『患者さまの権利』

1. ひとりの人間として人格と価値観を尊重される権利があります。
2. 医療提供者との相互協力のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 検査・治療などの自分が受ける医療の内容について、わかりやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。

4. 説明を十分理解し同意した上で、医療行為を受けるかどうか自分の意志で選択する権利があります。
5. 医療行為の選択にあたって、他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
6. 診療の過程で得られた個人情報、個人の秘密として厳正に保護され、承諾なしには開示されない権利があります。
7. 自分が受けている医療内容を知るために、診療録の開示を求める権利があります。

私たちが、上に掲げた患者さまの権利を尊重した医療を提供するために、患者さまには次のことをお願いいたします。

- ① 自分の健康に関する正しい情報の提供
- ② 医療への積極的な参加
- ③ 病院の規則を守ること
- ④ 研修医、医学生、看護学生などの研修・実習・見学への理解と協力